



ISAIA2016

ISAIA 2016

International Symposium on
Architectural Interchange in Asia
第11回アジアの建築交流国際シンポジウム
—Resilience and Diversity—

: Rethinking Asian Architecture for
the Next Generation

<http://isaia2016.aij.or.jp/>

日本、中国、韓国、三カ国の建築学会が、国際化する社会における建築の役割を深く理解し、建築に関わる知をそこに以下に役立てていくかを共有することを目的に、1986年、日本建築学会の百周年を機に、ISAIA(アジアの建築交流国際シンポジウム)を立ち上げました。今年日本で行われるISAIA第11回大会は、2011年の東日本大震災から5年半たった東北の仙台で行います。

ここでは多様な現実があり、多くの問題が問い直されています。それは「人は自然にどう向き合うべきか」、「近代とは何だったか」といった根本的な問いさえも含んでいます。私たちはそうした反省のうえに、持続可能な社会という問題を定義しなおそうとしています。

そこで今回のキーワードは「レジリエンス」と「ダイバーシティ」としました。たんに「物理的に壊れない」のではなく、さまざまな危機をマネージし、柔軟性をもって変化や矛盾や破壊に対応していける社会を目指すためのキーワードです。そこから「建築」はどのように捉え返されるでしょうか。

東アジアのみならず、より広いアジア諸地域、さらには世界からの参加者の皆さんと、建築をめぐるあらゆる分野を横断しながら、建設的な議論をしたいと考えています。ふるってご参加ください。

入場無料

(基調講演、テーマセッションA,Cのみ)

Admission Free

(Only Keynote Session, Theme Session A and C)

共同主催：日本建築学会、大韓建築学会、中国建築学会、東北大学大学院工学研究科
後援：内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、国土交通省、仙台市、UR都市機構、住宅金融支援機構、河北新報、毎日新聞社
特別協賛：PwCアドバイザリー合同会社
協賛：大林組、鹿島、きんでん、久米設計、佐藤総合計画、清水建設、住友林業、積水ハウス、総合資格、大成建設、大和ハウス工業、TOTO、戸田建設、日建設計、日本設計、フージャースホールディングス、松田平田設計、三菱地所、ミサワホーム、LIXIL、YKK AP
助成：仙台観光国際協会、国際交流基金アジアセンター

Keynote Session / 基調講演

アジアにおける建築と都市の課題について、日本、韓国、中国を代表する建築の専門家が講演します。

日時：9月21日(水) 21st Sep.(Wed) 9:30~12:00
会場：東北大学百周年記念会館川内萩ホール, Kawauchi Hagi Hall
講演：日本：伊東豊雄(建築家、伊東豊雄建築設計事務所 代表取締役, Japan)
韓国：Ryu, Choon Soo (Architect / Beyond Space Group, Korea)
中国：Li Xiaodong (Tsinghua University, China)

Public Theme Session / 公開テーマ・セッション

A. リスクマネジメント・防災・復興
国境をこえる世界、共有される知恵 --- リスク社会における未来の都市・地域像
A. Risk Management, Disaster Prevention, Mitigation and Recovery: A World beyond Borders, the Wisdom Shared by People - Our Future Cities and Regions under Risks

日時：9月21日(水) 21st Sep.(Wed) 13:30~17:30
会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール, Kawauchi Hagi Hall
Asia is prone to natural disasters such as earthquakes and typhoons, as well as other risks related to economic and demographic trend, and disaster prevention and risk management must be the fundamental basis of sustainable urbanism and the core of urban strategy to attain city competitiveness. The Great East Japan Earthquake brought severe damage to Sendai city and Tohoku area. However, these cities managed to minimize the impact of disaster and achieved rapid recovery by leveraging know-hows from the past and resilient infrastructures.

第一部：未来の都市経営戦略

アジアの都市で都市戦略を考えるリーダーたちが、求められる都市防災力について、経済環境、人口動態と各種のリスク、そして都市管理手法とそこにおける官民連携などを交え、議論します。
野田由美子(日本・PwCアドバイザリー合同会社)
Lee, Kyung Hoon(韓国・Korea University), Zhu Wei(中国・Tongji University),
モデレーター：牧 紀男(京都大学防災研究所)・青井哲人(明治大学)

第二部：アジアの災害復興協力ネットワークの構築に向けて

被災からの復興に焦点を絞り、その歴史的・文化的背景、地域実践や住民参加、専門家の役割、経験共有のための地域間ネットワークなどを、建築家・計画家・研究者が語ります。
中谷礼仁(日本・早稲田大学)
村尾 修(日本・東北大学災害科学国際研究所)
Ikaputra(インドネシア・Universitas Gajah Mada), Song Bo(中国・China Architecture Design Group),
Seo, Soo-Yeon(韓国・Korea National University of Transportation)
モデレーター：青井哲人(明治大学)・牧 紀男(京都大学防災研究所)

C. 聖と俗の界面——東アジアにおける仏国土の技法と意匠

C. History of Architecture: The Interface between Pure and Impure Lands -The Technique and Design of Buddha Land in East Asia

Themed on Buddha-land created by the oath and ascetic practices of bodhisattva, this session discusses the technique and design concerning the East Asian Buddha-land, based on the latest research findings by Japan, China and Korea, regarding the structure including pillars and beams, enshrinement of Buddha images and their daises, centering on the boundary between pure and impure lands.

日時：9月21日(水) 21st Sep.(Wed) 13:30~17:00
会場：東北大学文系総合棟 法学部第1講義室(ディスカッション:日中韓逐次通訳付き)

Lecture Rooms: Multidisciplinary Research Building, Lecture Hall 1 [Law] (202)
基調講演：藤井恵介(日本・東京大学), パネリスト：長岡 龍作(日本・東北大学 ※東洋・日本美術史), Ding Yao(中国・Tianjin University), Kim, Wang-Jik(韓国・Hanyang University)

11th International Symposium on Architectural Interchange in Asia
—Resilience and Diversity—
: Rethinking Asian Architecture for the Next Generation

